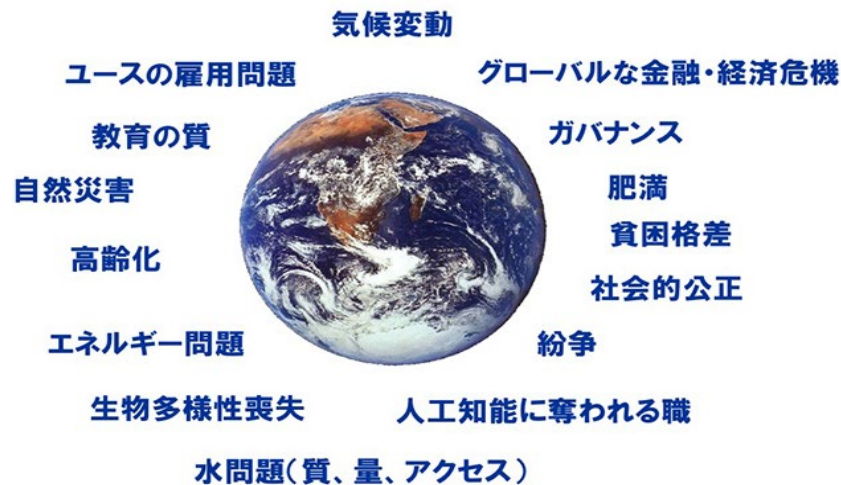


## SDGsの実践に向けて～SDGsの本質を捉える～

さて、問題です。下の図は、何を表しているでしょうか。



正解は、SDGsが採択された時代背景にある諸課題(問題)です。

この複雑な問題をあなたはどう解決しますか。

常に 変化する 環境で、多角的に総合的に対応する必要があります。

さて、問題です。2050年の世界人口はどのくらいでしょう？

① 35億人    ② 70億人    ③ 98億人

①は現在の世界の男子(女子)の数、②は現在の世界総人口、そう答えは③です。日本は少子化問題がありますが、世界はすでに「地球の限界数」を迎えつつあるのです。

この複雑な問題をあなたはどう解決しますか。

左記のような時代背景、世界観を踏まえて「SDGsを実践する」とは一体どういうこと？

### SDGsの実践の5つの段階

- (1) SDGsに対して知識もなく、関心も薄い(SDGsとの接点のない生活)  
大半の人や組織がこの段階。
- (2) SDGsについて関心を持ち、一通りのことを学ぶ(SDGsへの関心と理解)  
問題意識を共有する仲間を作ろう。
- (3) SDGsの複雑性を理解する(SDGsの複雑性の発見)  
「他者・他国は関係ない」「自分の所属は環境だから、他の目標は関係ない」は不十分。  
多様で総合的に問題を捉えよう。自分事にできるかが肝である。
- (4) 「SDGsの複雑性を理解したうえで、自身や所属する組織なりの解決策や行動指針を見だし行動する」(SDGsの複雑性に取り組む個人や組織の行動)  
総合的、批判的、文脈的、関わる個人、組織、社会の変容を促す。
- (5) 「自身や所属する組織だけでは問題解決ができないことを認識したうえで、統合的な問題解決にむけて、多様な主体の力を持ち寄る協働をすすめる」(SDGsの複雑性に取り組む私たちの協働: ソーシャル・プロジェクト)  
問題が起きるのも、解決するのも、誰か特定の人々の責任という自己責任論を超え、問題が起きづらい構造、起きてても対応できる構造(社会生態系の構築)を整える必要がある。

SDGsの本質＝“我々の世界を変えること”(transforming our world)

動的・包括的な問題解決には、スパイラルにSDGsを捉えていこう！



2019/6/12 朝日新聞

佐藤 真久(さとう まさひさ) 東京都市大学大学院 環境情報学研究科教授